

DJ TSUTOSHI ぱちんこホール向けBGM 第1弾



世界屈指のDJ DJ TSUYOSHIが
ホール向けトランスBGMをリリース！

監修はT.V等でなじみの脳科学者、諏訪東京理科大学の篠原菊紀教授

音楽と脳の動きにより、飽きさせない遊技空間の創造を提案します！！

再生時間 1:01:18

定価 5,000円

お問い合わせ

NOB連絡先

〒110-0015 東京都台東区東上野3-10-5 吉川ビル3F
TEL:03-5812-5601 FAX:03-5812-5602

AGE×2 DERU×2 MIX VOL.1



諏訪東京理科大学
教授 篠原 菊紀 先生の

脳活動とリラックス度実験

DJ TSUYOSHI
アゲアゲ デルデルMIX



A君

よく使う音楽



B君



20代男性2名で、ホールではおなじみの曲とTSUYOSHIの曲を聴いている時の脳活動とリラックス度を調べました。

添付の図は、「TSUYOSHIの曲を聴いている時の脳活動」から「おなじみの曲を聴いている時の脳活動」を表したのですが、TSUYOSHIの曲の方が脳が鎮静化しています。

また副交感神経活動が高くよりリラックスしていました。

実はパチンコやスロットで長時間遊戯できている時、脳は鎮静化しリラックスしていますから、TSUYOSHIの曲はその効果を高める可能性があります。

特に台からの音が少ないスロットコーナーでの使用が望ましいのではないのでしょうか。



TSUYOSHIの方が、音楽のリズムどりにかかわる右脳の活動が高い。B君では、右手でのリズムどりにかかわる脳活動も高い。一方で左脳の側頭葉から前頭葉下部の活動は低く、リラックスしていることがうかがえる。

実際、自律神経活動ではTSUYOSHIの方が副交感神経活動が高く、よりリラックスしていることが認められた。

DJ TSUYOSHI

日本大学芸術学部映画学科映像コース在学中の80年代後半、東京で本格的に音楽活動開始。当初は映像作家を目指していたが、DJKUDの主率していた西麻布イエローでのイベント「アート」での経験が影響し、DJ表現に於けるそのインタラクティブ性に魅せられ、ダンスミュージックのDJとして、そのキャリアをスタートさせる。

1993年単身渡英し、トランスレーベルMATSURI PRODUCTIONSを立ち上げ、数々のスマッシュヒット作を手がけ、同時にロンドンでのレギュラーイベントであるRETURN TO THE SOURCEの成功等で一躍世界のトップDJに。

98年ISSEY MIYAKEの東京/パリコレクションの音楽担当、自身のエレクトロバンド、JOUJOUKA(www.myspace.com/joujoukajapan)もデビュー。

2000年、拠点を東京に移し、伝説のイベント「Tokio Drome」を主宰。その後、エレクトロレーベルMADSKIPPERS (www.madskippers.com)を立ち上げ、東京発世界発信として、10数枚のCDを世界リリース。

2007年、渋谷のCLUB ASIAにてレギュラーイベント「MADSKIPPERS」を隔月にてスタートさせ、クラブミュージックとロックミュージックの融合をコンセプトとした、日本を代表するオルタナティブエンターテインメントとして大成功を収める。

現在、JOUJOUKAのニューアルバム制作中で、同時にDJ活動も世界規模及び日本発信で継続。そして、Madskippers TVとしてUSTREAMやニコ生放送を駆使したメディアコントロール活動も始める。

